

【大阪府阪南市】（関西国際空港から約20分、海と山が出会うまち） 都市圏と阪南をつなぐ懸け橋、(仮称)阪南テレワークステーション整備事業



背景・現状と課題

- アクセス良好、海と山が出会う『ちょうど良い田舎』
- 2015年から2040年で人口が約**3割減少**すると推計。
- 10代後半から20代の**若年層の転出が多い**。
- 里山里海を活かした取組みに力をいれています。
- 実証フィールド提供、新たな価値の創造や地域の課題解決へ。



新しい人の流れの創出や魅力的な働く環境の創出として

公民連携や移住・定住を強力に推進するためには、「**市外企業等と地域がつながる拠点**」が必要

事業の目的

- つながる拠点を提供することで、**都市圏の企業進出・滞在・移住の好循環の創出**をめざす。
- 地元企業・市民等との交流・連携を促進 → **新たなビジネスやイノベーションの創出**につなげることで地域課題の解決や、進出企業・市ともにWin-Winとなる**新たなビジネスやイノベーション創出**につなげる。

これまでの取組(令和3年 関連事業として)

- 阪南市観光協会と大阪観光局との共同で**大阪初のワーケーションの取組がスタート**
- 庁内組織を見直し、**シティプロモーション推進課及び企業連携デスクを設置**
- 「**環境省ローカルSDGs（地域循環共生圏）**」実践地域等に登録（大阪府4番目）
- 「**TEAM EXPO 2025**」プログラム/共創パートナーに参画（全国自治体3番目）
- **ポストコロナ社会の潮流を踏まえた情報発信の基盤（PR動画やウェブサイト等）を整備中**



【大阪府阪南市】（関西国際空港から約20分、ちょうど良い田舎） 都市圏と阪南をつなぐ懸け橋、(仮称)阪南テレワークステーション整備事業

事業内容

- ▶ 大阪府内で初となる、内閣府の地方創生テレワーク交付金を活用して、
市役所内に「(仮称) 阪南テレワークステーション」を整備（令和3年度：48,419千円）

- 【コンセプト】
- ・人と人、人と情報の交流により、「働く場所」から「創造の場」へ
 - ・“都市圏に近い田舎”で暮らすきっかけづくり
 - ・「新たなワークスタイルの創造×地方創生」
 - ・木目調のデザインとし、温もりを感じることができる空間に 等



得られる成果等

- ▶ 都市圏の企業進出・滞在・移住の好循環が創出
- ▶ 新たなビジネスやイノベーションが創出

企業のメリット

- 効果1 地域資源などを活かした**新事業の展開** 等
- 効果2 **SDGs・社会貢献企業としてのPR**
(市長贈呈式、HPや広報誌、阪南TVで紹介等)
- 効果3 里山里海にふれあう**多様な働き方**の推進
- 効果4 企業版ふるさと納税を活用した事業で**税負担が軽減**



企業に求めるもの

- ▶ 企業版ふるさと納税（人材派遣型含む）による支援
- ▶ 地元企業・市民等との交流・連携
- ▶ (仮称) 阪南テレワークステーションを利用

【お問合せ先】
未来創生部 シティプロモーション推進課
電話：072-471-5678 前田

